

— 関係部課にご回覧下さい —

役 員	部 長	課 長	係 長	係 員

平成30年度

中小企業技術者研修

設 計 技 術 研 修 受 講 案 内

期 間 平 成 30 年 6 月 ～ 10 月

〈特 色〉

- (1) 機械の設計、開発および生産技術を勉強しようとする若い技術者に必要な知識を幅広く修得できるように編成しています。
- (2) 理論は最小限にとどめて入門者にもよく理解できるようにし、現場に必要な科目を多くして機械工学科修了者にも目新しい内容としています。
- (3) 応用科目には業界の権威者を当てて最新の情報が得られるようにし、基礎科目は名古屋市工業研究所の職員が担当して研修後も相談等がしやすいように配慮しています。

主 催 名古屋市・(公財)名古屋産業振興公社

中小企業技術者研修

検索

CLICK!

中小企業技術者研修



《研修生募集要項》

研 修 の 目 的	中小企業者または、その従業員に対し技術に関する基礎理論、応用知識およびこれに関連する必要な事項等を研修することにより、中小企業の技術開発力の向上を図り、企業の発展に資することを目的とします。
研修期間と時間	平成 30 年 6 月 28 日～10 月 25 日（8 月 9 日・16 日 夏休み） 原則として毎週木曜日 午前 9 時 30 分～午後 4 時 30 分（昼 1 時間休憩） 講義 84 時間、実習 12 時間 計 96 時間
研 修 場 所	名古屋市工業研究所 名古屋市熱田区六番三丁目 4-41
募 集 人 員	定員 36 名（同一企業からのお申し込みは、3 名まで）
受 講 料	59,400 円（税込）
修 了 証 書	所定時間数以上出席の受講者には、名古屋市長より、修了証書が交付されます。
申 込 方 法	受講希望者は添付の受講申込書、または http://www.nipc.or.jp/kougyou/p_training/doc/giken.doc からダウンロードした申込書フォーム（Word 文書）に必要事項を記入の上、郵送・ファックス・電子メール添付のいずれかにより下記までお申込みください。（2、3 日経過しても当方より連絡がない場合は、お手数ですが、ご連絡をお願いいたします。） 本研修の目的に合うと認められる中小企業者からのお申込みは、先着順に受講決定のご連絡をいたします。※大企業からのお申込みについては、募集締切後に受講可否のご連絡をいたします。中小企業者からの受付状況によって、受講をお受けできない場合があります。また、定員に達したときは、締切日を早めることがありますのでご了承ください。 ※中小企業基本法に定める中小企業に該当しない企業を大企業とします。 〒456-0058 名古屋市熱田区六番三丁目 4-41 名古屋市工業研究所内 公益財団法人 名古屋産業振興公社 ものづくり人材育成課 電話〈052〉654-1653 FAX〈052〉661-0158 E-mail:kenshu@nipc.or.jp
募 集 締 切 日	平成 30 年 6 月 7 日（木）17 時必着
受 講 料 の 納 入	<u>募集締切後、受講料の請求書をお送りしますので、開講日前日までにお振込みをご予定ください。</u>
そ の 他	○納入された受講料の払戻しはいたしません。 ○講義日程等は変更することがあります。 ○研修中の事故については、一切責任を負いません。 ○本研修を受講された受講生の事業主に対して、要件を満たす場合、「人材開発支援助成金」制度の利用ができます。

— 助成金制度の詳細やお問合わせ先 —
厚生労働省愛知労働局 あいち雇用助成室
TEL 052-688-5758

《研修科目と講師》

科 目	月 日	時間	講 師	主 な 内 容
機 械 設 計 概 論	6 / 28 (木)	3	橋本技術士事務所 所長 橋 本 宗 到	設計の基本、数量の単位など
材 料 力 学	6 / 28 7 / 5 7 / 12 7 / 19 (木)	12	橋本技術士事務所 所長 橋 本 宗 到	材料力学の概論、材料の弾性および塑性、安全率と許容荷重、はり、軸等の応力とたわみ、柱・骨組構造物の強度、設計問題および例題演習
鉄 鋼 材 料 (炭 素 鋼)	7 / 5 (木)	3	名古屋市工業研究所 支援総括室 毛 利 猛	炭素鋼を中心とした鉄鋼材料の種類、特性、用途について
銅および銅合金材料	7 / 12 (木)	3	(株)UACJ銅管 技術管理部 第一生産技術室 玉 川 博 一	銅および銅合金材料の特性、 casting性、加工性、耐食性、溶接性、素性、その他
アルミニウム材料	7 / 19 (木)	3	(株)UACJ 技術開発研究所 担 当 技 術 者	加工用アルミニウムの製造法概要、合金の分類、主要添加元素の材料的意義、合金の調質方法、物理的および化学的性質、二次加工、表面処理
ば ね 設 計	7 / 26 (木)	6	中央発條(株) ばね技術部 精密ばね設計室 室長 遠 矢 英 樹	ばね設計の要点、ばねの特性、用途など
こ ろ が り 軸 受 の 選 定 と 取 扱 い	8 / 2 (木)	6	NTN(株) 産業機械事業本部 営業技術部 主査 藤 田 精 彰	ベアリングの精度、荷重と寿命特性、潤滑、ベアリングの事故とその対策
ね じ 設 計	8 / 23 (木)	3	名古屋市工業研究所 プロジェクト推進室 児 島 澄 人	ねじ、強度設計、締め付け管理
モ ー タ の 選 び 方		3	東芝産業機器システム(株) モータドライブ事業部 開発・設計担当 山 本 雄 司	モータの種類と選び方
油 圧 機 器 と そ の 応 用	8 / 30 (木)	6	豊興工業(株) 開発技術部 システム技術室 技術管理G 石 川 正 人	油圧駆動に関する基本的な考え方とポンプ・バルブなどの各種油圧機器ならびに油圧回路
空 圧 機 器 の 基 礎 ・ 応 用	9 / 6 (木)	6	CKD(株) 営業本部 販売促進部 商品拡販G 植 村 浩 司	空気圧システムの概要、機器の構造と特徴、空気圧システムのサイジング、回路設計の基本と応用

科 目	月 日	時間	講 師	主 な 内 容
電 気 設 備 と 配 電 盤	9/13 (木)	3	日東工業(株) 生産本部 第一盤技術課 課長 伊 藤 博 司	電気設備に対する配電盤の役割とその設計の概要について
締 結 要 素 設 計		3	名古屋市工業研究所 プロジェクト推進室 児 島 澄 人	各種締結要素の設計について
プ ラ ス チ ッ ク 材 料	9/20 (木)	3	名古屋市工業研究所 プロジェクト推進室 波多野 諒	各種プラスチック材料の特性、応用などの概説
歯 車 設 計		3	オクトイド 大 野 誠	歯車の図面の見方、設計について
N C 工作機械について	9/27 (木)	6	オークマ(株) 周辺機器強化プロジェクト 吉 田 睦	N C 工作機械の導入のメリットおよび設計上、構造上の特徴などについて述べ、今後の方向ならびに欧米の傾向などについても略説する
※ シ ー ケ ン ス 制 御	10/4 (木) 10/5 (金)	6	三菱電機(株)名古屋製作所 F A システム第一部 メルセックテクニカルセンタ 張 紅	シーケンス制御の種類とシーケンス制御装置の選び方および具体的応用シーケンスの使い方（プログラミング）の実習
機械の低騒音化技術	10/11 (木)	3	名古屋市工業研究所 計測技術研究室 山 内 健 慈	音響、振動の基礎および防音・防振材料について
治 具 の 基 礎 と 応 用		3	(株)ナベヤ 製造技術部 課長 長 野 史 学	治具の役割と現場における活用
材 料 の 不 健 全 部 の 超 音 波 非 破 壊 検 査	10/18 (木)	3	(有)超音波材料診断研究所 川 嶋 紘一郎	溶接・接着部材では製作時に不健全部が、またほとんどの材料では経年劣化が進行するので、それらを非破壊的に検出する超音波非破壊検査について概説する
金 属 の 破 壊 事 例		3	名古屋市工業研究所 製品技術研究室 夏 目 勝 之	金属破面の特徴 破壊事例紹介 破壊原因調査と対策
C A E 実 習 ・ 材 料 試 験 実 習	10/25 (木)	6	オートデスク(株) 丸 山 裕 人 名古屋市工業研究所 生産システム研究室 松 下 聖 一 真 鍋 孝 顯 製品技術研究室 二 村 道 也 深 谷 聡 浅 尾 洋 貴	3 D モデル作成と解析 材料試験・超音波探傷

※10月4日又は5日（いずれか1日）の研修会場は、三菱電機(株)名古屋製作所 F A コミュニケーションセンターにて行います。
〈平成30年3月時点の日程表です。最新版はホームページでご確認ください。〉

中小企業技術者研修受講申込書

平成 年 月 日

(あて先) (公財)名古屋産業振興公社ものづくり人材育成課 **FAX 052-661-0158**
平成 30 年度中小企業技術者研修の【 設計技術 研修】受講を申し込みます。

ふりがな 企業名			
企業代表者 役職名 氏名 生年月日	年 月 日		
所在地（本社） 住所	〒		
TEL・FAX	TEL	FAX	
ホームページ URL			
資本金・従業員数	資本金	万円	従業員数 名
業種（下記一覧より記載）			
主要製品			

受講者			
ふりがな 氏名 所属・役職名			
勤務地 住所	〒		
TEL・FAX	TEL	FAX	
担当業務			

連絡責任者			
ふりがな 氏名 所属・役職名			
請求書等 書類送付先 住所	〒		
TEL・FAX	TEL	FAX	

（業種分類一覧）

0001	食料品製造業	0012	なめし革・同製品・毛皮製造業	0023	輸送用機械器具製造業	0034	学術研究、専門・技術サービス業
0002	飲料・たばこ・飼料製造業	0013	窯業・土石製品製造業	0024	その他製造業	0035	宿泊業、飲食サービス業
0003	繊維工業	0014	鉄鋼業	0025	農・林・水産業	0036	生活関連サービス業、娯楽業
0004	木材・木製品製造業(家具を除く)	0015	非鉄金属製造業	0026	鉱業	0037	教育、学習支援業
0005	家具・装備品製造業	0016	金属製品製造業	0027	建設業	0038	医療、福祉
0006	パルプ・紙・紙加工品製造業	0017	はん用機械器具製造業	0028	電気・ガス・熱供給・水道業	0039	複合サービス事業
0007	印刷・同関連業	0018	生産用機械器具製造業	0029	情報通信業	0040	サービス業（他に分類されないもの）
0008	化学工業	0019	業務用機械器具製造業	0030	運輸業	0041	公務（他に分類されるものを除く）
0009	石油製品・石炭製品製造業	0020	電子部品・デバイス・電子回路製造業	0031	卸売・小売業	0042	分類不能の産業
0010	プラスチック製品製造業	0021	電気機械器具製造業	0032	金融・保険業		
0011	ゴム製品製造業	0022	情報通信機械器具製造業	0033	不動産業・物品賃貸		

※ご記入頂きました個人情報、研修生への連絡や名古屋市工業研究所及び当公社の開催する研修の案内以外には使用いたしません。
暴力団の活動に利用されることにより当該暴力団の利益になると認められるときは、受講をお断りします。なお、その判断をするに当たっては、暴力団員であるかどうか等について、愛知県警察本部長の意見を聴くことがあります。